

橋本教授(右)から主権者教育について学ぶ
参加者＝福井市の県国際交流会館



主権者教育 重要性学ぶ

福井で県市町選挙団体連総会

福井大教授が講演

県内各市町の選挙と明るい選挙推進協議会をつくる「県市町選挙団体連合会」の総会がこのほど、福井市の県国際交流会館で開かれた。選挙委員ら約80人が参加。昨年から選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことを受け、講演を通じて若者への主権者教育の重要性をあらためて学んだ。

社会科教育学などが専門の

橋本康弘・福井大教授が講師となり、「主権者教育を振り返る」と題して話した。

橋本教授は主権者教育について、選挙の投票など政治に参加する意識を醸成するだけでなく、「社会問題に対して分析、考察することができ、素養を身に付ける教育」と強調。 「地域や学校の問題などを課題として取り上げて政治への関心を高めるところからスタートし、主権者意識を高める必要がある」と訴えた。

講演に先立ち、役員選任なども行われ、連合会長に福井市選挙の藤井健夫委員長を再任。副会長には大野市選挙の富平昌宏委員長が新たに就いた。任期は1年。

(桂知之)